



## 【第44期陸曹特技課程「准看護師」卒業式】

令和3年3月4日

3月4日（木）、自衛隊札幌病院准看護学院長（高橋1佐）は、北部方面総監部医務官森西1佐、北部方面隊最先任上級曹長金子准尉のご臨席を賜り、第44期准看護学生24名（男性13名、女性11名）の卒業式を挙行了した。

卒業に当たり、病院長（大鹿陸将）は、「この卒業をもって終了ではなく、2年間の教育の価値はこれからの努力次第で決められる。これからの人生においても引き続き人格の陶冶に努め、困難に挑戦することを忘れずに日々成長し、将来、陸自衛生の中核となって活躍することを心から期待している。」と訓示した。

また、准看護学院長は、「新天地において自らの任務分析を行い、やるべきことをやることの方が大切であり、その一步一步が今後の成長につながる。是非とも自衛隊准看護師としての仕事を好きになり、そして楽しみを見つけ、大きく飛躍してもらいたい。」と式辞を述べた。

北部方面総監部医務官（森西1佐）は、「多くの人に感謝される側になり、いかなる環境下においても任務を完遂し得る衛生救護陸曹として大きく成長してほしい。」と祝辞を述べられた。

学生代表は、「この教育において、お世話になった病院長をはじめとする病院職員への感謝と、これからの勤務への抱負として、自衛隊札幌病院准看護学院の伝統に誇りを持ち、衛生救護陸曹としてより一層の努力と研鑽を続けて行きます。」との誓いを述べ、多くの病院職員に見送られて、北は名寄、南は福岡までそれぞれの任地へ旅立った。

なお、病院長褒賞を古澤3曹が、学院長褒賞を林3曹、同じく吉田3曹が受賞した。



卒業証書授与



病院長（大鹿陸将）訓示



准看護学院長（高橋 1 佐）式辞



北部方面總監部医務官  
（森西 1 佐）祝辞



真剣に話を聞く卒業生



見送り（万歳三唱）